

横浜商科大学留学生報

横浜商科大学留学生会発行

主な内容

留学生会京都課外活動および飯山祭、留学生フォーラムについての先生方々と留学生皆さんの感想



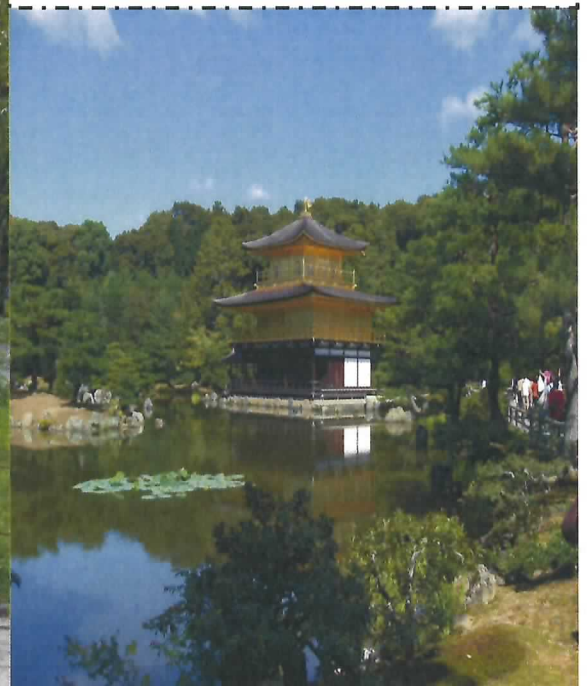
金閣寺をバックにして、みんなで集合写真
先生方々七名、留学生21名、日本人学生1名



第三十八回飯山祭、みんなで留学生の
餃子と焼肉の模擬店をだしました。
模擬店の前でチーズ！



中国にいた時から聞いたことのある嵐山公園、周恩来が留学の時に嵐山公園を訪れてそして詩を残した有名な日本のスポットである。



初めて見た金閣寺はとっても眩しく光っていて、非常に魅力的で感銘をうけた。

二年間を振り返って

教授 村上 一郎

前委員長の尾関先生より引き続き、あつという間に二年間が過ぎました、現在の田端先生が新委員長になっておられます。

留学生会長も葛 文海君から女性の鄭 也さんに引き続かれ留学生メンバーも「〇〇」名と大人数になりました。二年間の留学生課外活動は生麦キリンビール工場・総持寺・八景島シーパラダイス・富士山周遊見学などで多数の留学生諸君が参加してくれました。

一番の思い出は、九月六日・九月八日・二泊三日の京都への課外活動です。これはただの見学・観光ではなく、グループに分かれ、「お寺・関西文化探求」、「外国人からみた京都・清水寺」、「京都と中国のつながり」などのテーマをもつて勉強し、それを留学生フォーラムで発表する約束で実行されました。

交通機関はバスを利用しました、当日は台風「ハ」号が関東に上陸するというニュースで心配しましたが、台風が逸れて全日程好天に恵まれ、課外活動の目的が達せられ最終日の金閣寺では太陽に日差しが反射し眩しく感じました。参加者全員無事横浜に到着しました。会長の鄭 也さん、参加者の皆さん本当にお疲れ様でした。

留学生の皆さんへ..

留学生委員長・助教 田端 純一郎

留学生の皆さんとは担当科目の心理学などを履修している人たちを除けば、多くの人達とはあまり接触がありませんでした。

私にとって初めての公式な出会いは飯山祭でした。留学生フォーラムでの発表を聞いた後、留学生会主催の屋台で餃子をおいしく食べました。フォーラムの発表は京都を中心とした歴史・文化についてのものによく調べられていました。単にまとめただけのレポートではなく、自国文化とのつながりなどの観点から見えており、内容は評価できるものでした。さらにもう一度掘り下げていけば、自国文化と日本文化より深く理解できるようになって、文化の相互理解に役立つだろう。是非、これだけで終わってしまわず、勉強を続けてほしいものです。

又、これは少し残念なことですが、もっと多くの留学生が参加してくれたら、さらに盛大になり、より素晴らしいものになったと思われます。これに限らず、他の行事も留学生が積極的に参加できるようにしたいものです。

留学生委員会としては留学生会が有効に機能するようにサポートするつもりです。同時に、留学生一人一人が、商科大学での生活を楽しく有意義に送れるようにできる限りのことはしたいと考えています。

留学生の課外活動

総田 はるみ

みどりキャンパスで教えた留学生に鶴見キャンパスで会うと驚くことがある。彼らの日本語がとても自然になっていることだ。

来日後一年弱を日本語学校で過ごしてきた1年生は、最低限のコミュニケーションはできる。しかし、日常生活、アルバイトで接する日本語のみが、彼らの耳にするものであり、日本に住んでいるとはいえ、彼らは出身国と強くつながっている。それは、ある意味大変いいことなのだが、それ故に自国の文化、表現にとらわれすぎるきらいがあり、過剰な反応となり、異文化（慣習、言葉など）の受容を妨げる。

この障壁を越えるきっかけが、授業外での接触であると思う。2年次以降、留学生は勉学を通じて多くの人に接する機会が増える。語学の授業という、つい受身になりがちなものではないが故、彼らは自己の発話能力、行動を真摯に受け止め、周囲の手本（先輩留学生、日本人学生、先生）を真似するようになるのではなかろうか。

上記のことを実感したのが、留学生旅行での出来事である。毎回集合時間に遅れがちだった1年生が最終日には一番早く集合していたこと、「暑いね」「そうですね」という会話が、「暑いね」「エアコンつけましょうか」という文脈を持つ会話に発展していたことなどである。

最後に、一つだけ懸念がある。旅行にしろ、フォーラムにしろ、参加しない（できない）学生がいる点である。せつかくの機会をみすみす逃すのは、誠に残念なことである。

今年これまでのイベントからの得た事

留学生会会長 三年 鄭 也

留学生会の会長になり、あっという間に九ヶ月も立ち、先生方々、留学生の皆様のご協力で大きいイベントもいくつかを成功させました。

このような会長という大きい役についたのは初めてで、全てゼロから始め、前留学生委員長の村上先生を始め、留学生委員の先生の方々、学務部の先生方、および先輩留学生会幹部の皆様にごアドバイスを頂きながら、各イベントの計画から実行反省までを手かけました。

この中、四月の新入生歓迎会では、みんなで八景島シーパラダイスに行き、リラックスした中で、先生や先輩と接し、新入生の緊張が取れて、大学生生活のアドバイスをもらい、楽しいひと時を過ごしました。一番の思い出になったのは二泊三日の京都課外活動でした。京都は日本文化の発祥地であり、日本語を勉強する人は誰でも京都を憧れていると思います。留学生皆さんの強い希望に応じて、京都課外活動が実行されました。六月から参加者がグループに分かれ、各グループが各自のテーマを決め、事前研究が行われました。大型台風の予報の中、京都に向かいましたが、着いた日に雨がちょっと降ったぐらいで、二日三日はすっかり晴れて、京都見学はとてもいい日に恵まれました。金閣寺を目の前にして、みんな感無量でした。そして、京都からもとってからみんなさらに研究内容をまとめ、飯山祭のフォーラムで発表し、先生方々からはとてもいい評価をいただきました。

もちろん失敗もたくさんありました。事前研究が何回しか集まれなくて、みんなで途中発表をするのができなかったこと；そして、宣伝不足でフォーラムの出席者は予想より少なかったこと；模擬店の配員がうまくいけなくて、朝の準備が不十分で売上が大きく影響されたことなど・・・このような失敗を反省し、来年の飯山祭に生かしたいと思います。

中国には「世上無難事、只怕有心人」という諺があり、世の中に難事はなく、ただ心がけしだいであるという意味です。この諺を座右に記し、これからも頑張っていきたいと思います。

最後に、これからも留学生会をご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

課外活動にかした感想

留学生会副会長 二年 趙 華春

今年9月の初めごろ、私は留学生会主催された『京都課外活動』に参加しました。事前の学習や資料の収集から現地の見学にわたって、日本で最も深い歴史を持っている京都についての歴史遺跡や文化生活などをよく勉強しました。

京都は国際的な観光都市として内外に誇り、重要文化財や壮麗な社寺だけでなく、人々の生活の中や日常の身近な風景の中にも、脈々と流れ息づく1200年の歴史があることを歩いて知りました。古と同じ風に吹かれたように、小さな社で、辻辻で歴史や文化や物語をよく体感しました。そのうちに、最も感心したのは、嵐山の見学中で元中国総理周恩来が京都大学で学んでいた、帰国する際に詠んだという詩『雨中嵐山』という石碑も見ました。

「雨の中、二度、嵐山に遊ぶ。兩岸の青い松が何本かの桜を挟んでいる。その尽きるところに、ひとつの山がそびえている。流れる水は、こんなにも緑であり、石をめぐって人影を映している。雨脚は強く、霧は濃く立ちこめていたが、雲間から一筋の光は射し、眺めは一段と美しい。人間社会のすべての真理は、求めれば求めるほどあいまいである。だが、そのあいまいさの中に、一点の光明を見つけた時には、さらに美しく思われる。」と詩を読みながら、自分も総理の気持ちを感じたような気がしました。

今回の見学旅行は私にとって大学生活の中で一番の思い出になれると思います。そして、三日間にわたって、先生方も遂行されて、子供のように守ってくれまして、無事に全員がよい旅ができました。学校でもあまり話す機会が少ない先生や先輩と交流もできて、よかったですと思います。今後にも今回のような課外活動を期待しています。

京都見学

—清水寺見学の感想 二年 熊 珈

今年の夏休み中、留学生学生会が主催された「京都見学活動」によって、先生達と一緒に京都に行きました。五つのグループに分かれ、それぞれのテーマに沿って、わずか二泊三日の間で色々調べてきました。その中で、特に私たちに深い印象を残ったのは清水寺でした。

清水寺は、京都市東山区の音羽山麓に位置します。世界遺産「古都京都の文化財」のひとつで、西国三十三か所の第16番札所でもあります。清水寺の開創は1200余り年前、奈良時代末の778年でした。延鎮上人が夢告をうけ音羽の滝を尋ねあてて行叡居士に逢い、霊木を授けられて音羽観音を彫造し、滝上の草庵に祀ったのに始まります。現存する主な建物は江戸時代に徳川家光が再建したものです。13万平方メートルの広大な境内に国宝の本堂・舞台と重要文化財の十五堂塔の建築を建ち並んでいます。有名な清水寺の舞台は高さ13メートル、139本の柱を縦横の組んだ懸岸造りで、京都の景色が一望出来ます。

清水寺は長い歴史があつて、重要な価値を持っています。千年にわたつても、その蓄積してきた文化遺産も日本人の心を支え続けてきます。このような静けさ、このような美しいも清水寺の不思議と魅力を際立たせています。

第38回文化祭についての感想

留学生会会計 三年 林 明雲

時間経つのが早いですが、第38回（11月5日～11月6日）の文化祭は終わつてもう三週間ぐらいいなりました。繰り返して見ると、まるで昨日のことでした。お陰様で今回の飯山文化祭に出した店舗、留学生のフォーラムと懇親会は全体的に非常に順調に行われました。留学生会はずっと前から飯山文化祭を参加していました。文化祭のお陰様で留学生達の仲がより深くなり、お互いの無形な絆がより強く結びました。今年の留学生会は暦年と違いのが留学生圏内だけではなく、日本人の友達から先生までの皆様も参加して戴きましてすごく嬉しかったです。

今回の文化祭で店舗を出すために、いろいろな準備の大変さを実感しながら、留学生達と一緒にギョーザを茹でたり、焼肉を串にして焼いたりしたなどの楽しさも感じました。その自然の雰囲気は一つ大家族みたいで何よりも大切です。飯山文化祭はただの短い二日間ですが、いろいろな事がやりました。そして、先生達にいろいろな会計の事なども教えて戴きました。結構勉強になりました。

飯山文化祭はただの短い二日間だけで、忙しくて疲れましたが、すごく楽しかったです。それは大学の生活にとつてすごく意味があると思います。



平成十七年度

留学生の成績報告

平成十七年度特待生

貿易・観光学科 三年次 孫 瑩

平成十七年度資格試験合格者

貿易業務主任者

貿易・観光学科 二年次 陳 長鳳

貿易・観光学科 四年次 李 英宰

外国人から見た京都

一年 尹鍾妊 陳光 羽 魏美玲

目的

外国人が日本の観光地を旅行する時、案内表示に日本語や漢字ばかり書いてあり、日本語がわからない人が困ることがある。日本を代表する観光地である京都で外国人がどれだけ快適に旅行を楽しむことができるのか、案内表示がどれだけ正しく、詳しく説明されているのかを調べることを目的とする。

良い例 2 :



良い例 1 :



清水寺に向かう道には英語、韓国語、中国語の説明が書いてある地図付の案内表示板が設置されており、初めてこの道を訪れる人も心配なく旅行することができる。私たちはこの案内図により道に迷うことはなかった。

良い例 3 :

このような案内表示板が設置してあり、ボタンを押すと3ヶ国語（英語・中国語・韓国語）の説明が流れる。各国の人の声の流れ、自然な発音で、聞き取りやすかった。様々な案内表示板があったためお城の拝見に役立った

竜安寺にある、別名虎の子渡しの庭とも呼ばれる名庭を縮小しておいたミニ石庭の写真である。日本人や外国人の盲人のため作られた物で、一般人は触ることが出来なかった。説明は英語、中国語、韓国語、そして盲人が読める字が書いてあり、盲人は手で触って、感覚で竜安寺を想像できるのだ。このミニ石庭を見て観光客のみならず、盲人のための日本人の特別な思いやりが感じられた。



悪い例 3 :



二条城の入り口にあった券売機の写真である。説明は全て英語で書いてあったが、韓国や中国の観光客が増えてきた今、韓国語や中国語の説明が不十分であることが残念だった。

입장료 (入場料)

	개인(個人)	단체(団体)
성인	600엔	500엔
학생(16~18세)	350엔	350엔
학생(13~15세)	350엔	350엔
어린이(7~12세)	200엔	200엔

入场費

	单人	团体
成人	600日元	500日元
学生(16~18岁)	350日元	350日元
学生(13~15岁)	350日元	350日元
儿童(7~12岁)	200日元	200日元

悪い例 4 :



竜安寺にある水戸黄門が寄進したという《吾唯足知》と彫られたつくばいのしゃしんであるが、この意味はガイド本を参考としたのである。この物は何を表しているのか、漢字のない国の人はもちろん外国人は意味を知ることができない。

提案：案内表示板など詳しく説明されてあれば、竜安寺をもっと理解することができると思う。

《中国語の翻訳文》

石制洗手盆

这是龙安寺茶室藏六庵里放置的石制洗手盆的模型。

刻有吾唯足知的石制洗手盆是当时的水户光园公捐赠得，一直被流传到现在。

佛教的佛经中写到：

知足者虽贫却富，

不知足者虽富却贫，

而这个石制洗手盆就是要表达这种知足常乐的意旨。

这就是所谓得禅礼的真髓所在，茶道的精神所在，真正得和平精神所在。

悪い例 5 :



金閣寺のお土産屋に貼ってあった写真である。英語の翻訳の間違っている所はカメラが複数形になっていること、そして韓国語の翻訳はなぜカメラだけ英語になっているのか、せつかくの翻訳に意味がなくなるのではないだろうと思った。そして、中国の観光地では「ここに監視システムが設置してある。」という文章が使われている。「犯罪」という言葉は中国人を不快にさせる恐れがある。

中国語訳文例 :

防止犯罪照相机工作中
⇒ 此处装有监视系统

悪い例 6 :



二条城にある小さい表示板の写真である。英語と日本語だけ翻訳されているが、それぞれの意味が違っている。英語の《Route》だと経路を意味するが、日本語の《天守閣跡》だと旧跡の名前である。意味は通じるかも知れないが、伝えていることが違うのだ。

提案 :

日本語の翻訳のように旧跡の名前を英語のみならず、韓国語や中国語で書いて、外国人の観光客に興味を持たせた方がいい。

翻訳例 :

天守閣跡
天守閣遗迹
텐슈카쿠 유적지
The ruins of TENSHUKAKU